

令和3年度（2021年度）第3回北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会
糖尿病対策小委員会 【議事録（要旨）】

日時 令和4年度（2022年度）2月22日（火）19時10分～19時30分

場所 Web開催（Zoom）

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

- 議題 1 公表医療機関の状況について
2 糖尿病の地域連携に関する現状調査について

議事

(1) 公表医療機関の状況について（報告）

ア 事務局（谷。以下「事務局」という。）から資料1に基づき説明。

イ 質疑応答（有・無）

○齋藤委員

令和3年度は減ったということですね。回収率は令和1、令和2、令和3と同じでしょうか。

○事務局

令和3年度は回収率が上がったのですが、公表への同意数が減少したため、公表医療機関数は減少しています。

○齋藤委員

この数値は何を意味していることになるのでしょうか。公表しない理由は何かわかっていますか。

○事務局

公表しない理由については、この調査では把握していないため、次年度以降の調査内容を検討していきたいと思えます。

○齋藤委員

患者数が増えるから、等でしょうか。

○奥村委員長

齋藤先生と同じ意見で、データと主に解釈を伝えていただくようお願いします。

○安孫子委員

公表医療機関の項目の3番「合併症に対する継続的な管理及び指導が実施できる」が大きすぎて、格差が生じるのではないのでしょうか。そこで数が減っているのですけれども、腎症、例えば尿検査とか定期的にやったり、神経障害ができるとか、眼科と連携してるだとか、そういった意味合いでどれでもちょっとやっていたら、やっているという風に見えるのかなと思うところもあって、先ほどの腎症重症化予防と繋げていくためには、もう少しちゃんと具体的などところをお尋ねして、答えにくいところもあるかもしれませんが、そうすることで、各医療機関の意識付け、動機付けに繋がっていったら良いのかなと感じました。

○奥村委員長

ご意見を取り入れて改訂版を作ってくださいと思います。

○事務局

検討させていただきたいと思えます。

(2) 糖尿病の地域連携に関する現状調査について（協議）

ア 事務局から資料2-1、2-2に基づき説明。

イ 質疑応答 (有・無)

○齋藤委員

この調査票はこれまでの2回と同じものですか。

○事務局

基本的には同じ内容であり、追加として、Ⅱ(2)公表しない理由についての選択肢の「4 糖尿病連携手帳を地域連携パスとして使えることを知らない。」を追加しました。

○沖津委員

クリティカルパスの導入について、委員になってからずっと前から言われていましたが、一部の地域例えば旭川などは活発に行われているけれども、他の地域では比較的周知されていないところもあるのではないかと思いますので、他の高血圧手帳などとの一本化も図っていかないといけないと思います。小樽だとこの手帳を持ってくる人はほとんどいないので、打ち出し方を考えていかなければならない。調査だけでもアウトカムが出てこないのではないのでしょうか。

○事務局

過去の糖尿病の医療連携調査では、糖尿病の連携パスにおいて何を活用しているかについては、糖尿病協会発行のパスが97%とかなり高い確率であり、道としては医療計画にも則り、このパスを活用している状況です。打ち出し方につきましては、検討させていただきたいと思います。

○奥村委員長

前々からあまり行き届いていない地域がなぜかとのことで、次回以降、解釈できる理由があれば、それがわかれば介入する手立てができてくると思いますのでそのように進めていただければと思います。

(3) その他

今年度の糖尿病対策小委員会は今回で終了予定。今後の本小委員会開催については、今後、各委員へ連絡していくこととした。

以 上